

# 光市記者発表資料

令和4年10月7日

件名

「未来のパパママ応援事業 赤ちゃん講座」の開催について

内容

光市では、おっぱい都市宣言のまちとして、「みつめ だきしめ 語りあう」ことを通して、命の尊さを体感し、自分自身や他者への愛情を深め、感謝の気持ちを養うことを目的として、中学3年生を対象に「未来のパパママ応援事業（別紙）」を実施しています。今年度も新型コロナウイルス感染症予防のため、内容を縮小して、以下のとおり開催いたしますのでお知らせいたします。

- 1 行事名 「未来のパパママ応援事業 赤ちゃん講座」
- 2 日時 令和4年10月13日（木）9：40～11：30
- 3 対象者 光市立室積中学校3年生（指定校）
- 4 会場 光市立室積中学校（光市室積新開二丁目4番1号）
- 5 内容  
妊婦体験（妊婦ジャケット）や赤ちゃんのお世話（赤ちゃん人形使用）などの模擬体験学習。
- 6 その他
  - ・赤ちゃんふれあい体験は中止します。
  - ・取材の際は、受付にて検温、手指の消毒を行うとともに、マスクの着用をお願いいたします。ご協力よろしくをお願いいたします。

問合せ

福祉保健部子ども家庭課子ども相談係

担当：岡村久美、川村 彰

TEL：（0833-74-5910）

# 未来のパパママ応援事業

## 実施の目的

- (1) 中学3年生を対象に赤ちゃんとのふれあいを通して、赤ちゃんのかわいらしさや命の不思議さ・尊さについて体感します。
- (2) 自分自身や他者への愛情を深めるとともに、自身を振り返り、感謝の気持ちを養います。
- (3) 次代を担う子どもたちが近い将来、結婚し親になることを肯定的に感じられるよう促します。

## 実施内容

### 学校の授業との連携

#### 第4回

##### 【園児との交流】

幼児とのコミュニケーションやふれあいの楽しさを体験



#### 第5回

##### 【体験の振りかえり】

体験で得た成果の復習  
親から子どもへのメッセージ  
事後アンケート：生徒



#### 第1回

##### 【オリエンテーション・いのちの授業】

事業全体説明  
おっぱい都市宣言について  
生命の誕生・命の尊さを学習



## みつめ だきしめ かたりあう

～心温かい人が育つまち“ひかり”～

#### 第3回

##### 【赤ちゃんふれあい体験】

赤ちゃんを抱いたり、あやしたり、育児の楽しさ、大変さを体験  
お母さんから育児の話を聞く



#### 第2回

##### 【赤ちゃん講座】

妊婦体験ジャケット  
赤ちゃん人形を使って赤ちゃんのお世話を体験  
たばこの害について学習



## 事業効果

- (1) 赤ちゃんに関する肯定的な気持ちが、84.5%から 89.5%に増加
- (2) 私は「人から大切に思われている」と感じるがあると肯定的な気持ちが、85.0%から 93.5%に増加
- (3) 親や家族に対する記述については、肯定的記述が増加し、否定的記述は減少 ※令和3年度実績より

### (感想 抜粋)

・「命」というのは奇跡だなと改めて思いました。自分がいま生きているのは、親のおかげでもあり、祖父母のおかげでもあります。この大切に育ててもらった命を、これからは自分が支え、親に恩返しができたらいいなと思っています。

・僕は、赤ちゃん、子どものことは正直苦手なほうかもしれませんが、苦手というかどうか対応していいかわからないときがあります。それが「まだ」というだけで、この先変わっていくとは思いますが、正直不安です。でも、パパママ応援事業でお母さんの大変さ、子どものお世話の大変さを強く感じました。そのことで、自分も親に苦労をかけているんだなと思い、感謝しました。もし、自分がその立場になったときは自分がきちんと大切に育てられたいなと思います。

・未来のパパママ応援事業では、赤ちゃんのことだけではなく、子どもを健康に育てるために、たばこの危険性などを知ることができて良かった。「もし、自分が子どもを持つようになると」と考えられる時間になったからとても有効な時間だった。人から大切に思われていると思うことも、これから生きる上で、とても大切な感性だと学ぶことができた。